FREE MAGAZINE

KYOTO UNIVERSITY HOSPITAL NEWS

京大病院広報

vol.128

特集1 消化器内科

広範な消化器内科領域で患者さんが主役の医療を

特集2 薬剤部

多様な視点から安全で最適な薬物療法を

12 Hospital News

募集 Recruitment 看護師

未来を担う看護師になる
http://kuhp-kango.jp/

募集 Recruitment 薬剤師

薬のスペシャリストとして
患者さんに寄り添う

募集 Recruitment 病院事務職員

私の仕事の先には
患者さんの安心がある

YouTube 動画「教えて京大病院」

腰痛、高血圧、胃がんなどの身近な疾患について、本院医師が解説。
右のQRコードよりご覧ください♪

KU:P 京大病院広報
KYOTO UNIVERSITY HOSPITAL NEWS

【京大病院広報 第128号】2022年12月発行
発行　京都大学医学部附属病院広報委員会
〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町54
www.kuhp.kyoto-u.ac.jp

本誌はオンライン会議システムを用いたインタビューや、院内職員による写真撮影など、感染対策をおこなったうえで作成しています。

KU:P
京大病院広報
KYOTO UNIVERSITY HOSPITAL NEWS
vol.128／2022.12

CONTENTS

01 特集1 消化器内科
05 特集2 薬剤部
07 管理栄養士おすすめレシピ
季節の食材　九条ねぎ&大根
09 もっと地域とつながる
てんかん診療を前へ進めるMEG検査の魅力
11 おしえて！専門外来
ストーマ外来
12 キラリ輝く看護師
皮膚・排泄ケア認定看護師
13 TOPICS
14 ご寄附のお願い

京大病院の基本理念

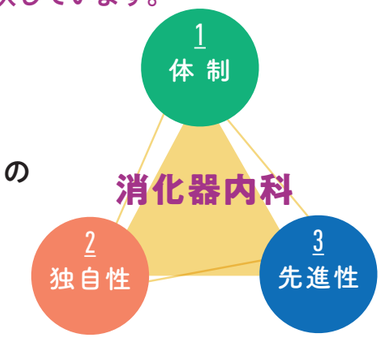
1. 患者中心の開かれた病院として、安全で質の高い医療を提供する。
2. 新しい医療の開発と実践を通して、社会に貢献する。
3. 専門家としての責任と使命を自覚し、人間性豊かな医療人を育成する。

広範な消化器内科領域で患者さんが主役の医療を

特集

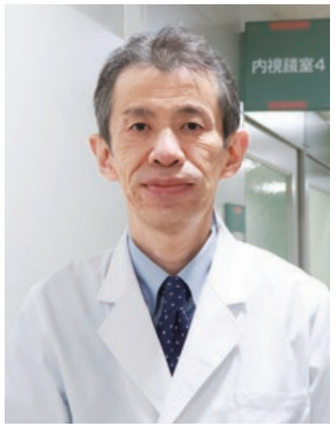
食道、胃、小腸、大腸、肝臓、膵臓、胆道と幅広い臓器を対象とする消化器内科。国内トップレベルの設備を誇る内視鏡部と一体となり、初期のがんから指定難病の治療まで、質の高い医療を提供しています。

ゆるぎなく
患者さんのための
医療を届けます



高度医療を担う病院の使命として関西広域からの患者さんに対応

京大病院の消化器内科は、消化管・肝胆膵疾患に広く対応しています。消化器は、栄養の摂取・吸収に欠かせない大事な臓器ですが、国内のがん死亡数ワースト6のうち5つを消化器系のがんが占めており、また、胃・十二指腸潰瘍、逆流性食道炎、脂肪肝、胆石など、消化器の病気は非常に身近な存在です。



当科では、地域の高度医療を担う病院として、他の総合病院や医療機関で処置困難となった症例にも対応しています。京都府下はもちろん、関西広域から患者さんを受け入れており、高い検査・処置数の実績があります。

消化器内科
教授　妹尾（せのお）　浩（ひろし）

各分野の専門医、地域との連携を密に手厚い体制を敷いています

当科には、内科学会認定内科医51名、総合内科専門医19名、消化器病学会専門医45名、内視鏡学会専門医37名、肝臓学会専門医14名と、幅広い分野の専門医が所属します。これらの専門医が、消化管外科、肝胆膵・移植外科、腫瘍内科、放射線診断科、放射線治療科、初期診療・救急科、病理診断科などとチームを組むことで、患者さんに最善の治療を提供しています。

外来においては、消化器の疾患全般の診察とともに、がん、指定難病、肝疾患などの専門外来も開設しています。初診でも患者さんの症状に合った専門外来を紹介予約いただけますので、専門医に最初からしっかり相談できると喜ばれています。また、入院診療では、患者さん1名に4～5名の医師が共同で診療にあたる「主治医団」制度を設けています。各分野の専門家がチームに加わることで、隙間のない診療をおこないます。

さらに、地域と連携した新しい診療体制の構築にも取り組んでいます。消化器内科は、開業の先生方がご専門にされていることも多い分野ですので、地域全体で患者さんの診療にあたれるよう、日頃から緊密なやりとりをおこなっています。

また、地域の公的病院、民間病院、健診センター、クリニックにも積極的に医師を派遣し、診療ネットワークを築いています。おかげさまでコロナ禍にあっても減少することなく、年約12,000件と多くの患者さんに内視鏡検査および治療を受けていただいています。

これからも地域の様々な施設や場所に診療の絆を広げて、患者さんが治療機会を逃すことのないように取り組んでまいります。

チーム力を発揮して
患者さんを支えます！

様々な消化器疾患に豊富な経験を活かして最適な診療を

本院は、肝疾患拠点病院として肝疾患相談センターを開設しており、B型・C型肝炎や肝硬変などの治療や電話相談などをおこなっています。さらに肝がんに対しては、お腹を切らずにラジオ波による高周波の熱でがん細胞を破壊するラジオ波焼灼術（しょうしゃくじゅつ）を年70件ほど実施しています。施術の際には、水を注入して死角をなくし、肝臓以外の臓器への負担を避ける人工胸水・腹水注入法や、CT/MRI画像と超音波画像を同期させるフュージョンイメージングを併用することで、より安全に正確に治療を受けていただくことが可能となっています。

消化器疾患で年々増加しているのが、潰瘍性大腸炎やクローン病などの炎症性腸疾患です。いずれも病気の原因が分かっていない指定難病の疾患で、様々な治療法を併用して症状が穏やかな寛解状態を保つことが大切です。本院では、お薬の効果を最大限に高める一方で副作用を少なくするよう、投与の順番や方法、組み合わせを工夫しています。高度医療を実施する医療機関として、数多くの免疫抑制剤、新世代のバイオ製剤の使用経験があることも、良好な治療成績につながっています。

また、本院は肝移植や肺移植において国内最多の実施数を誇るため、当科には「移植内科」としての役割も求められています。とくに肝移植については、移植相談の専門外来も開設するなど、移植医療のサポートをおこなっています。

2 独自性

次世代の医療への働きかけも次々と

3 先進性

すべての患者さんを治すために！

先進的医療技術、医療機器の開発を通じ新しい医療を開拓しています

より安全で、効果の高い最先端の医療を患者さんに提供することを目指して、新たな診断・治療法の開発にも積極的に取り組んでいます。

例えば、内視鏡と造影剤を使って胆嚢や胆管、膵管の異常を調べるERCP検査のための検体採取器具を開発しました。この新たな器具は良悪性を診断するのに非常に有用で、今後日本国内の多数の施設はもちろん、多くの国で使われることになるのではと期待しています。また、潰瘍性大腸炎の診断や治療効果の判定に使用できる物質（抗インテグリンαVβ6抗体）を発見したことも大きな成果で、厚労省の研究班にも参加して、実用化へ向けた努力を積み重ねています。

さらに、早期発見が難しい膵がんや胆道がんについて、企業との共同研究も実施しています。血液中のマイクロRNA測定による診断を目指しており、実現できれば血液検査による早期診断が可能となります。その他のあらゆる消化器がんについても、全国の研究者とチームを組んで、ゲノム解析や体の外で組織を培養するオルガノイド技術などを用いた研究を進めています。がんが発生するメカニズムを解明することで、予防や早期発見に結びつけることを目指します。

こうした研究結果を１日でも早く診療現場に還元できるように、当科では日々研究に邁進しています。また、診療においても、地域の医療機関と密接に連携したうえで、ひとりでも多くの患者さんに先進的な高度急性期医療を提供できるよう、「患者さんが主役の医療」を合言葉に患者さんと向き合ってまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

京大病院の「内視鏡部」についてお教えします！

「内視鏡部」

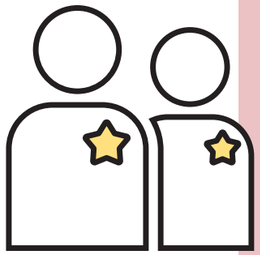
消化器疾患の診療において欠かせない！

京大病院の内視鏡部は、国内トップレベルの設備を誇ります。
消化管、胆膵、呼吸器の3分野の検査と治療をおこないます。

「内視鏡部」の強みは人材

スタッフは全員スペシャリスト

消化管、胆膵分野の診療に従事する内視鏡部スタッフは、全員が消化器内視鏡学会の指導医もしくは専門医です。消化管、胆膵領域全てにおいて疾患を熟知した経験豊かなベテランと若手の精鋭スタッフがタッグを組んで診断・治療をおこなっています。

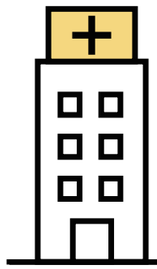


1 POINT　優秀なスタッフが標準治療から高度先進医療まで幅広く対応します。

「内視鏡部」の強みは豊富な設備

最先端かつ豊富な設備でお待ちしています

内視鏡検査は、７室体制で稼働しています。内視鏡装置12台を常備。その他にも超音波内視鏡６本、ダブルバルーン内視鏡４本・カプセル内視鏡システム１機などがフル稼働。透視台もCアーム型とI型が１台ずつあり、２列並行しての検査・治療が可能です。



2 POINT　内視鏡の洗浄においても高水準洗浄消毒を実施。最新の感染・環境対策をおこなっています。

3 POINT　消化器内科も移植内科としての役割を果たしていますが、内視鏡部も同様にサポート！

「内視鏡部」の強みはここだけの特別な検査・治療

移植医療にも対応する検査・治療が可能です

京都大学病院は移植医療のメッカです。そのため、生体肝移植後の胆管吻合部狭窄に対する内視鏡処置や小腸移植後の移植小腸の拒絶反応の内視鏡による早期診断など、他施設では経験できない特殊な内視鏡検査・治療もおこなっています。

NEW TOPICS　＼さらに新しい取り組みも／

他領域と共同で様々な診療にも活躍しています！

今後の医療を視野に入れ、他領域（外科や時には基礎講座）と共同して様々な診療に取り組んでいます。例えばELSP（消化器内科＋腫瘍内科＋耳鼻咽喉科）、EUS-FNA手技を用いた放射線不透過マーカー留置術（消化器内科＋放射線治療科）、消化管がんや潰瘍性大腸炎、胆膵がんの病態解明のためのサンプリングなどを通して、内視鏡の可能性を拡げています。

Pharmacy —Dept. of Clinical Pharmacology and Therapeutics

京都大学医学部附属病院 薬剤部

調剤室

がん化学療法室

製剤室

医薬品情報室

多様な視点から安全で最適な薬物療法をお届けします

京大病院の薬剤部では、薬剤師や技術／事務職員など、総勢約100名が業務にあたっています。「薬学的アプローチで日常診療を変える」という理念のもと、患者さん一人ひとりに最適な薬物療法を提供できるよう努めています。

薬剤部の主な業務として、処方されたお薬を取りそろえて患者さんへお届けする調剤業務があります。処方箋の内容に間違いがないか、患者さんに適したお薬が処方されているかなど、薬剤師がカルテを見ながらしっかりと確認しつつ、機械による自動化も取り入れることで、安全で効率的な調剤をおこなっています。また、お薬の説明をする際に患者さんから得られた情報などから、医師へ処方提案する役割も果たしています。

京大病院では、全ての病棟に専属の薬剤師が配置されています。入退院時のお薬の説明はもちろん、普段から服薬していたお薬による副作用はでていないか、入院中に処方されるお薬との飲み合わせは問題ないか、余分なお薬があったりしないかなども確認しています。また、病棟で使用する薬剤の管理や、医師や看護師へお薬に関する情報の提供などもおこなっています。お薬によっては、血液中の薬物濃度を測り、患者さんの効きやすさに合わせた投与設計や処方提案をおこなうこともあります。

その他、市販されていない医薬品を院内で調製する製剤室や、お薬に関するリスクを分析する医薬品安全管理室、最新の医薬品情報、副作用情報等を収集して適切に周知する医薬品情報室など、部内の多様な部署が協同することで、安全安心な薬物療法を患者さんにお届けしています。

薬剤部長 寺田（てらだ） 智祐（ともひろ）

地域全体で患者さんを支えるために

近年、退院後も地域全体で患者さんを支える「地域包括ケアシステム」が築かれつつあります。京大病院も近隣の保険薬局と連携を深め、このシステムに貢献しています。

例えば、保険薬局の薬剤師が患者さんから聞き取った服薬状況や副作用などの情報を、「トレーシングレポート」という情報提供書を用いて病院薬剤師へ連絡し、それを病院薬剤師が病院医師にフィードバックしています。緊急性はないけれど医師へ伝えるべき情報を共有しておくことで、次回診察時にお薬の調整につながったりと、より綿密なサービスを患者さんに提供できるようになりました。

また、保険薬局と合同の勉強会を月１回程度開催したり、保険薬局の薬剤師が病院に研修を受けに来るなど、地域とのつながりはますます充実してきています。両者がさらに質の高い連携を目指して協働することで、患者さんを地域全体でしっかりと支えてまいります。

医師の代わりに薬剤師ができること

昨今、医療業界でも働き方改革は大きな課題となっています。医師の作業負担を減らすことは、患者さんと向き合える時間を増やすことにもつながりますので、私たち薬剤師は代替できる業務を担うことで医療の下支えをしています。

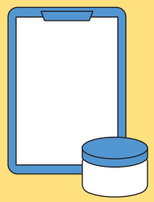
例えば、医師と事前に決めたルール内で、薬剤師がお薬の使い方などを決めることがあります。具体的には、薬剤師が患者さんが持参されたお薬の入院中の使い方を提案する、患者さんに適した投薬量の調節や不要なお薬の中止をおこなうなどの業務が、医師による最終確認のもとで可能になりました。医師の負担を軽減することはもちろん、患者さんの副作用の予防や軽減にもつながっています。

また、薬剤師は処方箋に疑わしい内容があると、その都度、医師に確認（疑義照会）をしますが、保険薬局からの照会の中には、一度に服用するお薬を同じ袋にまとめていいかなど、治療とは直接関わらない問い合わせも多くありました。そこで、保険薬局と病院間で合意を得て、形式的な問い合わせを省略できるルールを定めることで、医師がその対応に取られていた時間を削減することができました。

ほかにも薬剤師が医師の代わりにおこなえる業務を一つずつ取り決めており、医師の負担軽減や患者さんの待ち時間の短縮を図っています。

薬剤師が代替する業務の例

- 副作用を確認する検査の追加
- 薬物血中濃度検査の追加
- 患者さんの状態に合わせた抗菌薬投与量の仮オーダー
- せん妄を予防／治療するお薬の追加
- 外来がん治療で現れる皮膚症状に対する軟膏の仮オーダー



Seasonal recipes!!

京大病院 管理栄養士 おすすめ！

季節の食材

特有のぬめりに甘さと香りが凝縮され
季節の味わいを楽しめるお手軽レシピ
素材の味を活かした、食べて美味しい

た九条ねぎと、冬野菜の王様・大根。
を本院の管理栄養士がご紹介します。
カラダにうれしいメニューをどうぞ。

九条ねぎ

旬ならではの

冬には甘みが一層増す
京の伝統野菜を楽しもう。

［疾患栄養治療部］管理栄養士 藤田 美晴（ふじた みはる）

九条ねぎの緑の葉には、抗酸化作用のあるカロテンやビタミンCが豊富です。白い部分の香り成分・硫化アリルは、エネルギー代謝に必要なビタミンB１の吸収を高める、消化を促すなど、様々な作用があります。一年中楽しめますが、旬の冬場にはぬめりが多くなって甘みが一層アップ！この時期ならではの風味を楽しんでください。

九条ねぎの選び方

葉先が枯れておらずピンとしてハリのあるもの、葉が青々としていて、白い部分がしまったものを選びましょう。使い切れないものは、新聞紙に包んで、冷暗所に立てて保存しましょう。

九条ねぎと れんこんのホットサラダ 2人分

材料

- れんこん……120g（ピーラーで皮をむき、一口大の薄切り）
- にんじん（3cmの長さの拍子木切り）…40g
- 九条ねぎ……60g（根の部分を切り落とし4cmの長さに切る）
- A 酢……大さじ1
- A ごま油……大さじ1
- A 塩……小さじ1/4
- A コショウ……少々

❶切ったれんこんは、さっと水にさらしたあとザルで水気をきっておく。
❷耐熱容器にれんこんとにんじんを入れ、ふんわりとラップをかけて600Wの電子レンジで約1分30秒加熱する。
❸❷を一旦レンジより取り出し、九条ねぎを加え、再度ラップをかけてさらに約3分加熱する。
❹材料をザルにあげて水気をきったら元の耐熱容器に戻し入れ、Aを加えて全体を混ぜ合わせる。温度が下がる過程で味が浸透するため10～15分おき、食べる前にもう一度全体を混ぜて盛り付ける。

ポイント　やわらかめの仕上がりが好みの方は、電子レンジでの加熱時間を延長してください。多めにまとめて作って、冷やして食べても美味しくいただけます。

栄養価（1人分）
エネルギー 110kcal
たんぱく質:1.3g
脂質:5.9g
炭水化物:8.9g
食塩相当量:0.8g

栄養価（1人分）
エネルギー 60kcal
たんぱく質:1.1g
脂質:4.0g
炭水化物:0.3g
食塩相当量:0.4g

九条ねぎのレンジ蒸し 2人分

材料

- 九条ねぎ……150g（5cmの長さに切る）
- A ポン酢……小さじ2
- A ごま油……小さじ2
- 七味……適量

❶電子レンジ対応の器に九条ねぎをのせ、ふんわりとラップをかけて600Wの電子レンジで約3分加熱する（硬そうであれば、そのまましばらく蒸らす）。
❷ラップをはずし、Aをかける。お好みで七味をふる。

様々な食べ方ができる
何にでも美味しい「九条ねぎ」

九条ねぎは、生食でも、加熱しても美味しいので、いろいろ活躍してくれます。酢味噌和えや白和えの具にしたり、油との相性のよさを活かして、ナムルや炒め物にしたりするのもおすすめです。

大根

風味を堪能！

どんな食材や調味料とも
相性のいい万能野菜。

［疾患栄養治療部］管理栄養士 福井 紗千加（ふくい さちか）

12月～2月頃に旬を迎える大根。この時期は寒さから身を守るために糖分が増し、甘みがあってみずみずしく、やわらかいのが特徴です。葉の付け根部分は甘く、先端にいくほど辛味が強くなります。生で食べるなら葉に近い部分を、加熱する料理には真ん中から先端部分を使いましょう。煮物や炒め物、大根おろしなど多彩な食べ方で旬の醍醐味を味わってください。

大根の選び方

ずっしりと重みがあり、曲がっていないもの、色が白くて皮のきめが細かくツヤとハリがあるものを選びましょう。カット大根を選ぶ場合は断面に注目！乾燥しておらず、みずみずしく、断面にすが入っていないものがおすすめです。

鶏のおろし煮 2人分

材料

- 鶏もも肉（一口大に切る）……300g
- 大根（皮をむき、すりおろす）……200g
- 青じそ（せん切り）……4～5枚
- サラダ油……小さじ1
- A 水……100ml
- A かつお節……2～4g
- A 醤油……大さじ1
- A みりん……大さじ1
- A 酢……大さじ1
- A 砂糖……小さじ1
- A 塩……ひとつまみ

❶中火で熱したフライパンにサラダ油をひき、鶏もも肉の皮面を下にして焼く。
❷焼き色がついたら裏返し、Aと大根おろしを全て入れ、鶏もも肉に火が通るまで約10分ほど煮込む。
❸器に盛り付けて、青じそをのせる。

ポイント　なすやしめじを入れて、一緒に煮込んでも美味しいです。

栄養価（1人分）
エネルギー 424kcal
たんぱく質:28.0g
脂質:29.4g
炭水化物:12.0g
食塩相当量:2.0g

ふろふき大根の ひき肉あんかけ 2人分

材料

＜ふろふき大根＞

- 大根……300g（3～4cmの厚さに切って厚めに皮をむき半月切り）
- 青ねぎ（小口切り）……適量
- A 水……100ml
- A 顆粒だし……小さじ1
- A みりん……小さじ1

＜ひき肉あんかけ＞

- 豚ひき肉……50g
- B 水……大さじ4
- B 片栗粉……大さじ1/2
- B 味噌……小さじ1
- B 醤油……小さじ1
- B みりん……小さじ1
- B 砂糖……小さじ1

❶深めの耐熱皿に大根とAを入れて混ぜ、ふんわりとラップをかけて600Wの電子レンジで約6分加熱する。一旦取り出し、大根を裏返して再びラップをかけて約6分加熱する。
※竹串をさしてスッと通るやわらかさになっていることを確認
❷別の耐熱皿に豚ひき肉とBを入れて混ぜ、ふんわりとラップをかけて600Wの電子レンジで約3分加熱する。取り出してよく混ぜる。
❸器に❶の大根を盛り付け、上から❷のひき肉あんをかけて青ねぎをのせる（青じそでも美味しい）。

ポイント　ひき肉あんかけではなく、大根に田楽味噌をつけて食べても美味しいです。

栄養価（1人分）
エネルギー 114kcal
たんぱく質:5.5g
脂質:4.2g
炭水化物:13.2g
食塩相当量:1.7g

※写真は盛り付け例

もっと

地域とつながる

Connect with the community

てんかん診療を前へ進めるMEG検査の魅力

安全で正確にてんかんの検査ができることで次世代脳波とも呼ばれるMEG（脳磁図）検査。
検査室が中央診療棟に移り、利便性が向上したことで多くの患者さんにご利用いただいています。
小児から高齢の方まで広くご利用いただけるMEG検査の魅力と可能性をご紹介します。

左から【脳神経外科】講師 菊池 隆幸　【小児科】助教 吉田 健司　【てんかん・運動異常】特定教授 池田 昭夫　特定准教授 松橋 眞生

てんかんは国民病の時代
正確な検査と早い治療が大切です

かつては小児の病気というイメージが強かったてんかんですが、最近では高齢者の発症も増えています。患者数も国内人口の約1％と多く、あらゆる年代の方に関連する国民病ともいえるでしょう。

20世紀に比べると、てんかんのお薬は飛躍的に進化しています。しかし、お薬ではてんかん発作が止まらない、いわゆる難治性てんかんの患者さんが3割ほどおられます。そのような患者さんの半数も、追加の検査によって外科手術が可能となり、約7割以上の患者さんで発作を完全に止めることが可能です。そして、外科手術をおこなう際に大変有効なのがMEG検査です。発作の原因が脳のどこにあるのか、脳波検査などでは把握できなかった詳細な場所まで解明できるようになりました。

京大病院は、てんかん診療に関して、内科・外科・精神科が密接に協力し合って国内屈指のシームレスな診療体制が整っています。さらに、京都府のてんかん支援拠点病院にも指定されました。てんかんに関してお困りごとがありましたら、地域の先生、患者さんとも、お気軽にご相談いただけたらと思います。

てんかん・運動異常
特定教授
池田　昭夫

取り扱いに厳しい基準のあるMEG検査
京都府下では本院にだけ設置しています

MEGとは、Magnetoencephalographyの略であり、日本語では“脳磁図”と呼ばれる検査方法です。脳の神経が活動する際に発生するとても弱い磁場の変化を、超伝導技術を使った非常に敏感なセンサーで記録します。脳波検査によく似ていますが、磁場は頭蓋骨に邪魔されないため、より正確に、細かい場所までとらえられます。

検査は、微弱な脳の磁場をとらえるため磁気シールド室に入っていただき、脳波検査と同様の小さな電極を頭に装着してベッドに寝ていただくだけです。所要時間は30分から1時間、準備を入れても2時間程度です。記録が終われば、そのまま帰っていただけます。薬物の注射なども必要なく、患者さんにとって安全で身体的負担の少ない検査です。

てんかん患者さんには、脳にスパイクという特徴的な活動がみられます。MEGは、そのスパイクが側頭葉のこのシワのこの辺りから出ているというレベルで分かります。脳のどこからスパイクが生じているかによって治療方針が変わりますので、正しくとらえられることは非常に有益です。

てんかん・運動異常
特定准教授
松橋　眞生

脳神経外科
講師
菊池　隆幸

難治性てんかんの患者さんでは手術が有効な治療法となることがあります。脳の手術をする場合、どの場所に異変が生じているのかを正確に把握することはとても大事です。異常ではないところを切除しても治りませんし、逆に神経の症状が出る可能性もあります。その点、MEGは脳波に比べてものすごく高い精度で場所を示すことができるので、MEGの結果は手術でも非常に参考になります。

特に、MRIでは異常が見つからない難治性てんかん患者さんの異常な部分を特定するのに便利で、術前には必須の検査になっています。

難治性てんかんは、手術の効果が見込まれるのに手術までたどり着けていない方もまだまだ多いのが現状です。MEGは詳しい情報が得られる一方で、患者さんの負担も軽い検査です。MEG検査によって手術の効果が見込める患者さんをひとりでも多く見つけだせたらいいなと思いますし、MEGはそういう可能性のある検査だと思います。

小児科
助教
吉田　健司

本院では、MEGを含め多くの精密検査機器を備えており、他の施設には少ないてんかんの外科治療にも対応しています。小児の場合、遺伝子の異常に伴うてんかんも多いのですが、全ての遺伝子を一度に解析する研究に参加することも可能です。本院は、小児てんかんに関して診断から治療までカバーできる日本有数の施設と自負しています。

小児てんかんの治療時には、お薬や発作が子どもの発達に悪影響を与える点を考慮する必要があります。てんかん手術が成功すれば、発作が止まってお薬を止められることもあります。すると、その子のその後の人生は劇的に変わります。それくらい小児のてんかん治療は、大人とはまた違った意味で影響の大きな治療だといえるでしょう。

MEGに関しては、本人の脳からでる磁場を記録するだけなので、赤ちゃんにでも使えるとても安全な検査です。脳波では、発生源が特定しづらい場合もあるのですが、MEGは場所が精緻に特定できるので大変有用です。小児のてんかん外科治療においても、必須の検査方法と考えています。府内のみならず、近隣の県からも患者さんを受け入れていますので、ぜひご相談をお待ちしております。

MEGは保険診療です

てんかん患者さんで服薬をされている場合は、自治体に申請すると「障害者自立支援法」によって外来費用が1割になります。ぜひ、制度を利用して、MEG検査をお受けください。

ストーマ外来

おしえて！

専門外来

ストーマ外来

消化管外科　准教授
肥田（ひだ）　侯矢（こうや）

**ストーマ外来では、消化管外科・泌尿器科の医師と
WOCナース（皮膚・排泄ケア認定看護師）が連携して、ストーマ患者さんをフォローしています。
ストーマについて聞きたいこと、知りたいことなど何でも気軽にご相談ください。**

ストーマについての疑問に医師がお答えします！

ストーマとは？

ストーマとは、手術によって便や尿の出口をお腹につくったものです。「人工肛門」と聞くと、肛門を人工物に置き換えると勘違いされる方もおられますが、切断した腸の先端を腹壁（皮膚）につなぐことでつくられます。

服の上から分かることはほとんどありませんが、ストーマの患者さんは、お腹につくった出口に排泄物をためるための袋（パウチ）を装着しています。通常の肛門に比べると自分の意思で排便がコントロールしにくくなるといわれています。

ストーマが必要となる病気は？

一番多いのは直腸がんです。腫瘍の位置が肛門から遠い場合は、病気の部分を切り取ったあと腸と腸をつなぐことが多いですが、腫瘍が肛門に近く、切り取ったあと腸同士でつなげられない場合は、腸と腹壁（皮膚）をつなぎます。

そのほか、大腸憩室炎、潰瘍性大腸炎、クローン病、直腸潰瘍、肛門狭窄、脊索腫などの疾患でもストーマが必要となる可能性があります。

ストーマをつくると社会保障が受けられるの？

ストーマには、永久的ストーマと一時的ストーマがあり、永久的ストーマは身体障害者手帳の対象となります。永久的ストーマは直腸がんなどで肛門ごと切除した場合につくられるもので、一生にわたって使用することになります。

一方、一時的ストーマは病気の治療の経過で一時的につくるもので、本来の肛門を「休ませる」ことが目的です。休むことによって肛門の機能が安定すれば、ストーマの閉鎖（ストーマの部分の腸と本来の肛門をつなぐこと）をおこないますので、身体障害者手帳の対象にはなりません。

ストーマの日常生活への影響は？

以前は日常生活に様々な制約がありましたが、最近は、水泳や温泉入浴もできる装具が普及してきました。排泄物を廃棄するとき以外はほとんどにおいもなく、おならのにおいも気になりません。取り扱いに気をつけることで、運動や長期旅行など行動の幅が広がりますので、使用にあたっての困りごとをお気軽にご相談いただければと思います。

皮膚・排泄ケア認定看護師

キラリ輝く看護師

患者さんのストーマケアについて一番身近な存在でありたいと思っています。

ストーマを造設された患者さんは、専用の装具を装着しての生活がスタートします。排泄のことはご家族にもなかなか相談しづらく、最初は戸惑ったり、不安を覚えたりする方が多くおられます。ストーマ患者さんの悩みや困りごとを一緒に考え、解決していくのが私たち皮膚・排泄ケア認定看護師の役割です。

「これから放射線治療が始まる。注意する点は？」

「海外旅行に行きたい。飛行機に乗っても平気？」

「妊娠したので気をつけることは？」

など、多岐にわたるご相談をいただきます。患者さんによっては、ストーマは一生お付き合いするものですから、ライフステージに合わせて困りごとも様々に変化します。その都度、お気軽にご相談いただければと思います。

患者さんは様々な治療を乗り越え、ストーマを造設されています。ストーマは毎日のケアが必要ですが、慣れれば日常生活も問題なく送ることができるようになります。

今は装具も進化して、においなどもなく、外見上からはほぼ分かりません。一方で、多目的トイレで排泄処理に時間がかかったら冷たい目で見られた…などのお話を伺うこともあります。ストーマ患者さんに対する、理解を深めることが、今後の課題です。

患者さんがストーマのおかげで「病気を克服して前を向いて進んでいける！」そう思っていただける看護を心がけています。

皮膚・排泄ケア認定看護師とは

創傷・オストミー・失禁看護の分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践ができる看護師のことです。皮膚・排泄ケア認定看護師は、ケアの実践だけでなく、医師や看護師等から相談を受けたり、ケア方法について指導したりする役割を担っています。

ストーマ外来 完全予約制	消化管外科外来	毎週水曜日午後
	泌尿器科外来	毎週火曜日午前

Wound,Ostomy and Continence Nurse
特定行為研修終了（創傷、ろう孔関連）
看護師長
三富（みとみ）　陽子（ようこ）

皮膚・排泄ケア認定看護師
長村（ながむら）　勝美（かつみ）

TOPICS

1 オープンホスピタル2022 開催中

地域の方々や就職希望者に京大病院をより知ってもらえるよう「オープンホスピタル2022」をオンラインで開催しています。普段はなかなか見ることができない業務も含めて、動画やスライドで紹介しています。特設サイトは来年1月末まで公開していますので、ぜひ訪れてみてくださいね♪

詳細はこちらから

2 市民公開講座を開催します ＠オンライン

京大病院iACTは、市民公開講座「未来の医療のために−臨床研究・治験を知る−」を2023年2月5日（日）に開催します。臨床研究・治験と聞くと不安を感じる方もいらっしゃると思いますが、医療は多くの患者さんの協力により発展してきました。臨床研究を通してどのように新しい医療が生まれていくのか、また生まれたものが実際に医療現場でどのように活用されているのかに触れてみませんか？

詳細はこちらから
https://iact.kuhp.kyoto-u.ac.jp/public_lecture_230205

3 台中栄民総医院が来院しました

2022年11月初旬に、本院のMOU協定校である台中栄民総医院（台湾）の訪問を受け入れました。一行は感染対策を徹底したうえで、CAR-T療法やiPS細胞を用いた研究を進める参考として、京都大学iPS細胞研究所や院内の関連施設を見学し、各担当者と議論を深めました。

京大病院では、今後も医療を通じた国際貢献をおこなってまいります。

4 本院で実施している治験・臨床研究の一覧を公開しています

京大病院では、各診療科のほか、早期臨床試験を中心に行うKi-CONNECT（次世代医療・iPS細胞治療研究センター）においても数多くの治験・臨床研究を実施しています。本院の基本理念のひとつである「新しい医療の開発と実践を通して、社会に貢献する」ためには患者さんのご協力が欠かせません。ご興味がある方は、リストから疾患名等で検索ができますのでご活用ください。

詳細はこちらから
https://iact.kuhp.kyoto-u.ac.jp/patient/result

THANKS FOR THE DONATION

京大病院基金へのご寄附のお願い

京大病院は、患者さん中心の開かれた病院として、安全で質の高い医療を提供し、
地域における中核的役割や国際社会への貢献を目指しております。患者さんをはじめ多くの皆さまに、
京大病院の活動にご理解いただき、「京大病院基金」へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

京大病院基金の使途

テレビカード基金にご協力ください

ご来院の際、精算前のテレビカードを外来棟1階『患者総合サポートセンター』入退院受付カウンターにある募金箱に入れていただきますとテレビカード残高が京大病院基金へ寄附されます。

皆さまのご協力をよろしくお願い致します。

ご寄附への感謝

1. **寄附者氏名の公表**　ご了承いただいた場合のみ、ご芳名をホームページ・院内掲示板に掲載します。
2. **時計台での顕彰**　累計100万円以上ご寄附いただいた方の銘板を京都大学百周年時計台記念館に掲載します。
3. **病院内での顕彰**　累計100万円以上ご寄附いただいた方の銘板を患者総合サポートセンター前に掲載します。
4. **感謝状の贈呈**　年間累計額が50万円以上（個人）、100万円以上（法人）のご寄附をいただいた方に感謝状を贈呈致します。

寄附金には、税制上の優遇措置があります。本学発行の領収証書にて税務署に確定申告が必要です。

税制上の優遇措置

1 個人のご寄附の場合　※市民税の控除は条例で指定される場合のみおこなわれます。お住まいの市町村へお問合わせください。

■所得税の控除
（寄附金額－2,000円）を課税所得金額から控除
※寄附金額は総所得金額等の40％が限度

■住民税の控除
（京都府・大阪府・滋賀県・徳島県・山口県・愛知県）
（寄附金額－2,000円）×控除率を税額から控除
※寄附金額は総所得金額等の30％が限度
控除率…府県民税（4％）、市民税（6％）

■相続税の控除
相続または遺贈により取得された財産を相続税の申告期限までに寄附した場合、その寄附金額には相続税が課税されません。

2 法人のご寄附の場合
寄附金の全額を損金として算入いただけます。

お申し込み方法

払込票によるご寄附
院内設置のリーフレットに添付の払込票に必要事項をご記入の上、ゆうちょ銀行・郵便局・全国の金融機関の窓口からお振込みください。

リーフレットの郵送をご希望される方は右記フォームよりお申し込みください

お問合わせ

■Webサイトからのご寄附
京大病院基金HPの申し込み画面よりお手続きください。
クレジットカード、銀行振込、口座引落（年払・月払）、ペイジーをお選びいただけます。

ご不明点・ご要望がございましたら、お気軽にお問合わせください。
■京大病院基金事務局（病院事務部経営管理課内）
[TEL]075-751-4920　[FAX]075-751-4228　070kuhpfund@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
■京大病院基金ホームページ
http://www.kikin.kyoto-u.ac.jp/contribution/hospital/

京大病院基金